

行政視察等報告書

平成27年5月25日

米子市議会議長様

会派名 信風

(代表者)氏名 伊藤ひろえ

(提出者)氏名 稲田 清



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	伊藤ひろえ、稲田清
期日	平成27年5月22日から平成27年5月22日まで
〔概要〕(年月日・場所・内容) 平成27年5月22日 島根県松江市 松江市発達・教育相談支援センター「エスコ」について	
〔所感〕 米子市において現在、5歳児健診の在り方検討会（現在まで8回実施）が開かれており、パブリックコメントが終了し、最終答申の提出を待つという時期にあたり、先進的な取り組みを成されている松江市の「エスコ」を視察した。「エスコ」とは松江市発達・教育相談支援センターの愛称であり、5歳児健診だけでなく1歳6箇月、3歳児等の健診と教育相談も実施されている。特徴的な取り組みとして、(1)5歳児に悉皆調査としてアンケート（一次健診）を行い、独自開発のシステム（年間約380万円）にてスクリーニングを行い、必要に応じて医師の受診（二次健診）を行う流れとなっている点、(2)福祉関係部署と教育委員会が一体となって運営されており、教育委員会が主導的立場で運営している点が挙げられる。説明の中で「一次健診で『所見あり（約23%）』となったが、そのうち二次健診を受診したものが約73%であり、この数値が80%になるのが当面の目標である。」という様に具体的な課題が挙げられた。また地域での支援体制として、保健師を地区毎に配置し健診後の状況の把握に努める業務もあり、米子市の対応状況との大きな開きを感じた。他にも参考となる取り組みが多数あり、今後の米子市の5歳児健診の実施に向けた動きにより注目を深めるべきと実感した。	
経費	旅費総額 1,552円